

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年3月31日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年3月31日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【共用燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器(B)ろ過剤入口弁動作不良について】 共用燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器(B)のろ過材をフィルターに付着させる工程において、ろ過材入口弁(空気作動弁)の開動作が遅く、「ろ過脱塩器(B)自動弁異常」の警報が発生し、ろ過材付着工程が自動停止した。その後、手動にて当該弁の開閉操作を繰り返したところ、動作が正常になり、当該工程の自動運転は完了した。今後、点検修理予定。</p>	GⅢ	3月25日
2	<p>【地下水バイパス一時貯留タンクグループ3-3水位計指示不良について】 地下水バイパス一時貯留タンクグループ3-3で、地下水を受入れ中、当該タンク水位計の指示の上限逸脱を確認。連結されている3-1、3-2のタンクレベル計は、それぞれ正常水位を指示していることから、当該水位計の指示不良と判断。 現在、連結した3-1、3-2のタンク水位計にて監視が可能。 今後、点検修理予定。</p>	GⅢ	3月26日